



令和5年度
尾張旭市自治会等活動促進助成金申請事業

横田団地町内会

ごみ出し及び防火の 設備改善・理解促進

横田団地町内会世話役 高田

2023.6.25

自己紹介

- + 横田団地町内会は、市の北部『維摩池』のほとりに位置します。

“ヨコタ”ハウスによる宅地開発により発足し、五十余年。自治会・連合自治会には加入していない単独運営の自治組織です。

- + 2023年6月現在、町内会加入世帯数は「72」です。

空き家・留守宅を除いて、域内の全戸が加入しており、「加入率100%」の町内会といえます。

- + 運営業務は、毎年度選出する世話役2名（正・副 各1名）で行っています。

上記世話役の他、お隣の愛宕町内会と共同で運営する『いまいけ集会所』の担当者が隔年で1名置かれます。
→2023年度は、正・副・集会所担当の計3名で運営中。



事業内容 サマリー

ごみ出しの『設備改善』

町内9カ所のごみ集積所に
折りたたみ式ごみボックスを導入

防火の『設備改善』

町内17カ所に設置の
期限切れ消火器を新品に更新

デジタルツールを用いた『理解促進』

設備の使用方法やルール等をメッセージアプリ等を用いて町内各世帯に継続周知

**カラス被害対策およびごみ出し効率化の促進
初期消火活動における防火対策の促進**

総事業費 230,000円 ▶ 助成金申請額 100,000円

ごみ出しの『設備改善』

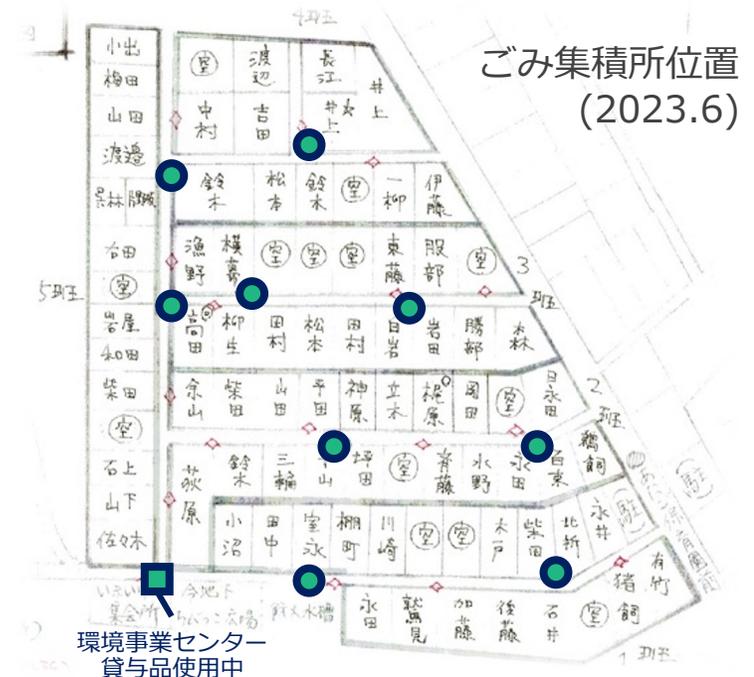
- + 町内全10カ所のごみ集積所のうち9カ所で、『カラス除けネット』を運用中。

「ネットを広げて、ごみ袋を置いて、ネットを掛け、レンガ等の重しで周縁の隙間を閉じて…」という労力の割に、完全な被害防止は難しく、度々の惨事に悩まされている。

- + 残り1カ所（いまいけ集会所前）は、環境事業センター貸与品『折りたたみ式ごみボックス』を運用中。

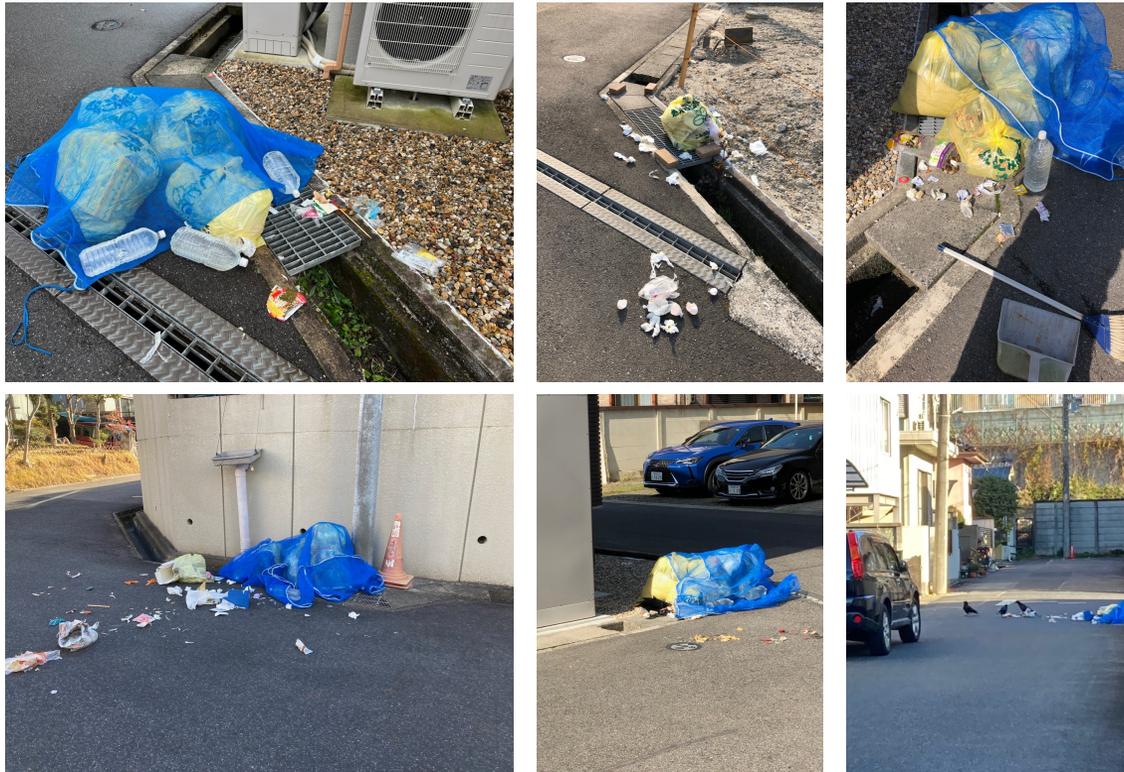
2022年の運用開始以来これまでカラス被害“0”。

- + 『カラス除けネット』を運用中の9カ所に、『折りたたみ式ごみボックス』を新たに導入することで、カラス被害防止強化・ごみ出しの効率化を図る。



【参考】町内ごみ集積所の状況

▼カラス被害の様子



▼折りたたみ式ごみボックス（いまいけ集会所前）



デジタルツールを用いた『理解促進』

- + 新たに導入する設備の使用方法やルールを町内会員にわかりやすく伝えるため、『メッセージアプリによる、画像や動画を交えた情報発信』を希望者を対象に継続的に行います。

従来どおりの回覧板による周知も並行して行います。

使用するデジタルツールについては、「普及率の高いメッセージアプリ『LINE』と連携可能」「自治会組織向けの無償プランを利用可能」という理由から『LINEワークス』を想定しています。

- + デジタルツールの機能を最大限活用することで、回覧板による連絡体制の問題点をカバーすると同時に、世話役業務の改善“も”図ります。

▼デジタルツールの機能と改善効果

- + **掲示板** → 回覧板と同じ内容を掲載。回覧板返却後でも、いつでも見返せる・新加入者も見られる。
- + **アンケート** → 町内会員の回答集約が必要な議題を、紙の回収の手間なく、スピーディに処理する。
- + **ファイルストレージ** → 全ての書類をデジタル保管することで、後世にきちんと残していく。
- + **チャット** → 「書類を渡して引継ぎ終了」ではなく、新世話役が前任者に気軽に相談できる。



予算

※ デジタルツールの利用に必要なパソコン・スマホ等の機器は、世話役の個人所有物を使用するため、費用は発生しない想定。

費目	項目	単価	数量	単位	金額
需用費	折り畳み式ごみボックス	15,000	9	個	¥135,000
	消火器（10型ABC粉末式）	5,000	17	個	¥85,000
	印刷費、掲示物資材代など	10,000	1	式	¥10,000

計 ¥230,000

補助率1/2に従い、規定上限額の『100,000円』の交付を申請いたします。

【再掲】 事業内容 サマリー

ごみ出しの『設備改善』

町内9カ所のごみ集積所に
折りたたみ式ごみボックスを導入

防火の『設備改善』

町内17カ所に設置の
期限切れ消火器を新品に更新

デジタルツールを用いた『理解促進』

設備の使用方法やルール等をメッセージアプリ等を用いて町内各世帯に継続周知

**カラス被害対策およびごみ出し効率化の促進
初期消火活動における防火対策の促進**

総事業費 230,000円 ▶ 助成金申請額 100,000円